



B€theONE Sports News

“かけがえのない存在”たれ!

B€the ONE 羽衣国際大学
HAGOROMO University of International Studies

現代社会学部 現代社会学科
放送・メディア映像学科
人間生活学部 人間生活学科
食物栄養学科

〒592-8344 大阪府堺市西区浜寺南町1-89-1
TEL 072-265-7000 FAX 072-265-7005
https://www.hagoromo.ac.jp/

はごろもこくさい 検索

関西学生秋季リーグ

2部女子、入替戦で残留決める



南里

3部男子は入替戦進出逃す



伊藤(左)・谷

向井

生野(左)・野間

伊藤

2022年度の関西学生秋季リーグは西日本学生からの連戦となり約1か月の長丁場となりました。2部の女子は8位。3部の入替戦は3-1で勝ち2部残留を決めました。3部の男子は3位。惜しくも2部との入替戦に進むことはできませんでした。今季は特に2年ぶりの開催となった西日本学生選手権から約1か月の試合期間での体調管理やトレーニングレベル、試合期の過ごし方について多くを学びコロナ禍でできなかった

【大会成績】

女子2部8位	<Bブロック>: 3敗>	武庫川女大
羽衣国際大	●0-5	大体大
	●2-3	滋賀短大
	●2-3	
	●2-3	
<下位リーグ>: 3敗>		神戸大
羽衣国際大	●2-3	大経大
	●2-3	
<入替戦>	○3-1	大経大
羽衣国際大	○3-1	
<男子3部3位>		
<Bブロック>: 3勝>		摂南大
羽衣国際大	○4-1	神戸大
	○4-1	和歌山大
	○3-2	
<上位リーグ>: 1勝2敗>		
羽衣国際大	●2-3	大阪国際大
	●1-4	大阪公立大

竹内は準V 男子シングルスB

関西学生新人戦大会(2022年11月3~19日)の女子Bシングルスで市橋美

バドミントンクラブ



市橋

女子シングルスB

市橋 V 関西学生バドミントン新人戦

佐子(食物栄養学科2年)が優勝しました。また、男子Bシングルスで竹内晴季(現代社会学科スポーツコース1年)が準優勝となりました。市橋は準決勝の第2ゲームで18-15から連続ポイントを許し、18-20とゲームポイントを握られました。が、踏ん張って追いつき、延長23-21とストレートで勝ち切ったことが大きく、決勝も第2ゲームの16オールドから5連続ポイントで突き放して優勝しました。竹内は準決勝で第1ゲームを延長で落としましたが、第2、第3ゲームは徐々に落ち着いてプレーで逆転し、2-1で勝って決勝に進出しました。決勝は第1ゲームのあと1点を取りきれず20-22で



竹内

大阪学生選手権(団体戦)は2022年11月26日から行われ、男子2部で羽衣国際大は1勝2敗の成績で3位となり、前回より一つ順位を上げました。初戦の関西大には0-3と完敗しましたが、2戦目の大産大戦では第1ダブルスから競り合い、勝利のチャンスもあったがダブルス2つを落としました。第3試合のシングルスでは、先日の新人戦B準優勝の竹内は競り合いながらもファイナルゲームで相手を突き放し、1ポイントを返しました。3戦目の大産大戦では伊藤・生野が圧勝。続く谷・和田の第2ダブルスも勝ちチーム1勝を挙げました。シングルス竹内は快調な動きで主導権を取り先手を

【大会成績】

女子シングルスB	準決勝 市橋○2-0(21-18, 23-21)松岡(追手門大)
決勝 市橋○2-0(21-15, 21-17)中村(大谷大)	
男子シングルスB	準決勝 竹内○2-1(24-26, 21-17, 21-10)名嘉(龍谷大)
決勝 竹内●0-2(20-22, 18-21)日方(大体大)	

た経験を積めた期間となりました。11月からの新人戦に向けては、それぞれの課題に対してその経験を活かした練習強化を進められたと思います。2023年春季リーグ戦は女子が2部、男子が3部での試合となります。

2年ぶりの開催は島根県松江市で行われた。ひとつでも勝ち上がることを目指したが、今年も上位大学の厚い壁に跳ね返され、残念ながらインカレ出場はならなかった。



伊藤(左)・谷



大阪学生選手権2022 女子1部準V & 男子2部3位



交流戦B・Cとも優勝

2023年シーズンの主な予定(前半)

2月下旬~3月上旬	大阪学生選手権(個人戦)
4月下旬~5月中旬	関西学生春季リーグ戦
5月中旬	大阪総合選手権(個人戦)
6月	関西学生選手権(個人戦)
8月下旬	西日本学生選手権(団体戦・個人戦)



恒例となった初打ち前の初詣は今年も大鳥大社へ。クラブ生、OBOGほか今までの練習参加者も加わり、賑やかに必勝祈願を行った。

【大会成績】

女子1部	2勝1敗	大体大
羽衣国際大	○2-1	大経大
	○2-1	関西大
男子2部	1勝2敗	関西大
羽衣国際大	●0-3	大産大
	●1-2	大産大
	○3-0	大経大
交流戦		
羽衣国際大B	2部優勝(3戦全勝)	
羽衣国際大C	3部優勝(3戦全勝)	



昨年引き続き2回目の出場となった西日本大学女子選手権(西日本インカレ)。1回戦は九州地区1位の日本文理大と対戦した。初回から強いスイングをしてくる強力打線を相手に、小林(スポーツ2年)

女子ソフトボール部 西日本インカレ2年連続出場



チームの確かな成長を刻む

が、5回に捕まると一挙に5失点した。その後リリーフした岩崎(スポーツ4年)も1点を失い、最終回は三好(食クリ4年)へとリリーフした。攻撃陣も八黄地(スポーツ4年)と上手(食物4年)のヒットのみに抑えられる展開となった。攻撃面ではあまり目立つところが無かったものの、守備面では柚原(スポーツ4年)と後藤(スポーツ4年)の二遊間コンビがダブルプレーを取るなど、相手チームに引けをとらないパフォーマンスを発揮した。

昨年の大会では、緊張のあまり自分たちのプレーができないまま試合終了となったが、今回は終始笑顔があふれていたように、練習した成果が出た試合となった。間違いなく成長している証になった。

がランナーを出しながら、何とか4回までは0-1の粘りのピッチングを続けた

【西日本大学女子選手権】
▽1回戦
●0-7 日本文理大

2022 関西学生 秋季リーグII部 4位



しかし、以前の課題の打撃面が振るわず、相手の点数以上の点を取ることができなかった。

【秋季関西学生リーグ】結果 II部4位

- ▷予選リーグ
 - 2-0 天理大
 - 0-1 大阪大谷大
 - 0-1 京産大 (タイブレーカー8回)
 - 14-1 兵庫教育大 (4回コールド勝ち)
- ▷順位決定戦 (3位4位)
 - 0-3 龍谷大

秋季関西学生リーグ女子II部で、創部初のII部4位という成績を収めることができ、1位の大阪大谷大、2位の神戸親和、3位の龍谷大に次ぐ順位となった。ピッチャーを中心に守備を固めた成果が発揮され、各試合の失点を2点以下に抑えることができた。



黒川未愛 (スポーツ4年)

秋季リーグ・ベストプレー賞

黒川未愛(スポーツ4年)が、この試合で活躍し、ベストプレー賞を受賞した。



「羽衣アスリートおにぎり選手権2022」開催。競技力向上を目指し、日々進歩するトレーニング。科学的な分析や実験など日々研究が進んでいる。本学では、食のプロである管理栄養士養成課程(食物

「羽衣アスリートおにぎり選手権2022」開催

栄養学科)があり、強化クラブ生に対する栄養指導や健康チェックが行われている。

パワー部門最優秀賞 「三色もりもりおにぎり」



リカバリー部門最優秀賞 「カラフル梅味噌ご飯」



コンディショニング部門最優秀賞 「貧血予防!こまにぎり」



この度、手軽に摂取できる捕食「おにぎり」に注目し、目的別レシピコンテスト「羽衣アスリートおにぎり選手権2022」を開催した。

賞	部門(目的) 作品名	氏名
最優秀賞	パワー部門 「三色もりもりおにぎり」	舟橋 輝百
最優秀賞	リカバリー部門 「カラフル梅味噌ご飯」	愛情サブリチーム
最優秀賞	コンディショニング部門 「貧血予防!こまにぎり」	木村 楓
優秀賞	パワー部門 「和風オムライスおにぎり」	宮山 碧唯
優秀賞	リカバリー部門 「鮭と大葉のさっぱりレモンおにぎり」	谷井 聖佳
優秀賞	コンディショニング部門 「Caたっぷり!チーズおなかおにぎり」	小谷 彩乃

16名・グループの応募があり、厳正な審査の結果、左記の方々に賞が贈られた。



4年生の思い出

1列目左から東、八黄地、後藤、上手、黒川
2列目左から永田、春駒、柚原、三好、岩崎
3列目左から高橋、若松、齋藤

おつぎはまたー! ありがとう! 4年間の思い出を振り返る。黒川未愛(スポーツ4年)は、4年間で多くのことが学べた。社会人では大学で身につけたことを活かして頑張ります。

黒川未愛(スポーツ4年)は、4年間で多くのことが学べた。社会人では大学で身につけたことを活かして頑張ります。

東優莉(食物)は、4年間で多くのことを学べた。社会人では大学で身につけたことを活かして頑張ります。

高橋真生(食物)は、4年間で多くのことを学べた。社会人では大学で身につけたことを活かして頑張ります。



近畿学生野球連盟秋季リーグ3位

3部リーグ2季連続優勝ならず

課題は守備力強化

【評】2022年度の秋季リーグ戦は第3節を終えた時点で4チームが同率首位に並び混戦であった。最終節の連敗で、対戦成

績を4勝3敗1分とし、2季連続優勝と昇格の目標を果たすことができなかった。3敗した試合はすべて相手に先制点を許した。また得点後の失点と二死からの失点など、守りの脆弱さが



投手 藤村 司 (3年生)



投手 升谷 翔洋 (2年生)

チーム打率&安打数リーグトップ
浮き彫りとなった。攻撃面では犠打で進めたあとにタイムリーが出るなど自信につながる戦いができたが、バントや走塁のミスで得点機を失う場面もあった。

8試合で22失点とバツテリーを中心とした守りの強化が求められる。最終学年を迎える投手の藤村と大西の成長は試合をつくるうえでポイントになるので期待が高まる。

リーグトップを誇るチーム打率に最多安打(78安打)、46打点、44四死球、17犠打の攻撃面も自信につながった。守備面では、投手の26与四死球と内野手による9失策に4つの捕逸が大きな反省材料であった。

来季に向けて、バッテリーを中心とした守りの強化を図り、チームの機動力も整備する。

【リーグ戦順位推移】

年次	勝敗	打率	順位
2017 秋Ⅲ部	3勝4敗1分	.429	4位
2018 春Ⅲ部	4勝4敗	.500	5位
2018 秋Ⅲ部	4勝5敗	.444	4位
2019 春Ⅲ部	6勝3敗	.677	3位
2019 秋Ⅲ部	3勝4敗2分	.429	4位
2020 春Ⅲ部	[中止]		
2020 秋Ⅲ部	2勝3敗1分	.400	3位
2021 春Ⅲ部	3勝0敗1分	1.00	1位
(公式記録) 入替戦なし			
2021 秋Ⅲ部	6勝2敗	.750	2位
2022 春Ⅲ部	7勝0敗1分	1.00	優勝
入替戦敗退 三部残留			
2022 秋Ⅲ部	4勝3敗1分	.571	3位



外野手 北山 勝規 (3年生)

ベストナイン
【外野手】(初受賞)
砂川 耀春 (2年) / 神戸国際大 学附属高校出身
【評】四番打者として全試合に出場し、チームの打線を牽引した。打率4割0分6厘、11打点、13安打、一塁打5本(リーグ1位)、本塁打1本を記録。長打力が魅力の将来を嘱望される好打者。



左 砂川 耀春、右 守本 拓末

リーグ表彰選手

近畿学生野球連盟(3部)



砂川

【三塁手】(初受賞)
守本 拓末 (2年) / 日本航空高 校出身
【評】三塁手として全試合に出場し、打率4割5分5厘はリーグ第2位。10安打、9打点、1失策と攻守にわたってチームを支えた。打撃でも非凡な才能を見せ、来季は中心選手としての活躍が期待される。

全日本自転車競技BMXレーシング

優勝



野村 凧沙さん

第39回全日本自転車競技選手権BMXレーシングが2022年10月、大阪府堺市の大泉緑地どろんこ広場で行われ、チャンピオンシップレベルの女子U23に出場した野村凧沙さん(現代社会学科国際英語コース1年)が優勝。初めての全日本タイトルに輝きました。

野村さんコメント

年に一度の日本で一番大きな大会、第39回全日本自転車競技選手権大会 BMXレーシング Women U23 カテゴリーで優勝できて嬉しいです。BMXレーシングを始めて10年が経ち、初めて全日本タイトルを獲得することができました。この結果で満足することなく、これからさらにいいパフォーマンスができるようトレーニングに励みたいと思います。



【結果】
Women U23 1位
Women Elite と Women U23 と Women Junior の3クラスと一緒にレースをし、総合結果は4位、カテゴリー別 Women U23 では1位でした。

硬式野球部の指導方針

野球を通じて人間形成を図ります。学生の本分は勉強、学生野球の本分は練習です。公式戦も大切ですが、それよりも大切なのは日々の練習です。

- 目指すは、
- 礼儀正しい大学野球部
 - 文武両道を目指す大学野球部
 - 高校より感動できる大学野球部
 - 皆から愛される大学野球部
- を創ること

監督 伊丹 康治 (本学職員)
日本体育大学では、捕手として明治神宮野球大会、大学野球選手権大会に出場(ともにベスト4)。和歌山・初芝橋本高校のコーチとして、夏の甲子園大会出場。監督も務める。2016年秋に大学野球部の監督に就任。入試センターにて学生募集にあたる。

部長 合澤 浩之 (現代社会学部教授)
総監督 竹之内 雅史 (神奈川・鎌倉学園高校では、内野手として春の甲子園出場。日本通運(社会人日本一)を経て、西鉄ライオンズ、阪神タイガースなどで主軸打者として活躍。引退後は阪神タイガース、ダイエーホークス、横浜ベイスターズなどでコーチ・二重監督を務める。)

女子駅伝部



関西学生対校女子駅伝12位

5区 進藤(右)から 6区 奥澤へ 3区 小谷(左)から 4区 木村へ 1区 今井(左)から 2区 中澤へ

UNIVAS AWARDS 2022-23にて優秀賞受賞!

○優秀賞
・KEIアドバンス賞
「学修支援に関する優秀取組賞」
取組名 羽衣学生アスリートGPA向上プラン (AGP)

○入賞
・コーチ・オブ・ザ・イヤー
硬式野球部 監督 伊丹康治
・スポーツ統括部局/SA賞
取組名 スポーツ栄養学的補食の開発と強化クラブ選手への提供

UNIVASとは?
一般社団法人大学スポーツ協会の略。2019年3月1日創設。全国219大学が加盟。大学スポーツの振興と参画人口拡大に向けて活動を行っている。

今井、木村が自己ベスト 第2回長距離強化記録会

2022年10月15日

関西学生女子駅伝が終了し、新体制での初レース。トラックでの久々のレースだったが、他大学の学生と競うことで、多くの刺激を受けた記録会となった。

▽5000m
今井花笑(食物栄養学科4年) 16分56秒31 || 自己ベスト
小谷彩乃(食物栄養学科3年) 19分28秒45
奥澤虹雨(食物栄養学科1年) 18分32秒76
木村心咲(食物栄養学科1年) 18分28秒26 || 自己ベスト

【1区】 3.9km	13分30秒	今井 花笑
【2区】 3.3km	11分18秒	中澤 麻友
【3区】 6.5km	24分48秒	小谷 彩乃
【4区】 6.5km	25分08秒	木村 心咲
【5区】 3.3km	12分05秒	進藤 秋穂
【6区】 6.5km	25分00秒	奥澤 虹雨

■出場大学数 18大学
■順位 12位
■時間 1時間51分48秒

粘り強くてすきりレー

全日本大学女子駅伝の予選となる関西学生対校女子駅伝競走大会が2022年9月23日、神戸しあわせの村周回コース(6区間30.0km)で行われた。今年のチーム目標は、チーム最高順位(11位)&記録(1時間47分59秒)の更新。目標達成に向けて粘り強く「納豆大作戦」をスローガンにチーム一丸となって走った。

羽衣国際大学女子駅伝部インスタ 日々更新中!
https://www.instagram.com/hagoromo_ekiden/

西日本インカレin愛媛 今井がシーズンベスト

2022年7月1~3日

コロナ禍の中で、3年ぶりの開催となった西日本インカレ。大会参加標準記録を突破している今井花笑(食物栄養学科4年)と中澤麻友(同2年)が出場し、女子1500mで今井が4分39秒30のシーズンベストをマークした。

『当たり前が日常が送れる』『チームで練習が出来る』『みんなで頑張れる』ということへの感謝の気持ちを実感した大会となった。来年度は福岡で開催される予定。全員出場を目指して、日々の練習に取り組みたい。

▽1500m(1日目)
今井花笑(食物栄養学科4年) 4分39秒30 || シーズンベスト
中澤麻友(食物栄養学科2年) 4分42秒11
中澤2分21秒19

山梨県山中湖村で初合宿

2022年8月15~19日

創部以来、初めて合宿を行った。高さ日本一の富士山を横目に厳しい練習に取り組んだ。

合宿のメインメニューは北口浅間神社へ馬返し約8km(高低差570m)コース。スタートからゴールまで上りのみの過酷なコースだったが、部員全員で力を合わせて取り組んだ。この成果は駅伝の記録にも反映された。

強化クラブ大学表彰式



2022年12月4日(日)、文武不岐を全うし、まもなく卒業を迎える強化クラブ所属の4年生に対して「強化クラブ大学表彰式」を行いました。

- ### 各賞紹介
- 『BE the ONE スポーツ賞』(特に顕著な活躍をした学生)
- 硬式野球部 辻 太雅
 - 女子ソフトボール部 上手 晶葉
 - 女子駅伝部 今井 花笑
 - バドミントンクラブ 谷 龍則
- 『BE the ONE 文武不岐賞』(特に学業成績が優秀だった学生)
- 女子駅伝部 宮山 碧唯
- 『激励賞』(強化クラブ所属4年生)
- 受賞 35名

各賞受賞後は、「在学中に大切にしていた座右の銘、4年間の活動や今後の抱負」について語りました。いずれの学生も4年間の成長が感じられるスピーチで、教職員一同、学生にとっての4年間の重みを感じた時間となりました。彼らはまもなく卒業します。卒業後は、羽衣国際大学の名前を背負い、周りと協調しながら即戦力として活躍してくれるでしょう。強化クラブ4年生諸君、4年間、お疲れさま。そして、ありがとう!!



2022年4月から、大阪府西堺警察署と連携して実施しているランニングパトロール、略して「ランパト」。月に1~2回ペースで堺市内の小学校周辺のパトロールを行っている。地域の安全・安心のため、これからも得意の足を使って、地域に貢献していきたい。

TOPICS ランパト 走るパトロール 活動

2023年2月17日撮影



大会成績

◆東大阪記録会 2022年6月26日

- ▽1500m 中澤麻友(食物栄養学科2年) 4分42秒44
- 予選 4分47秒46
- 決勝 4分47秒46

◆東大阪記録会 2022年10月23日

- ▽1500m 木村心咲(食物栄養学科1年) 4分53秒93
- 河本優希(食物栄養学科1年) 5分04秒57
- 岩本真歩(現代社会科学科スポーツ2年) || シーズンベスト 5分22秒15
- ▽3000m 奥澤虹雨(食物栄養学科1年) 10分44秒48
- 岩本真歩 || 自己ベスト 10分21秒13 || シーズンベスト
- 進藤秋穂(食物栄養学科2年) 11分10秒22

◆関西学生種目別選手権 2022年10月18日

- ▽5000m 小谷彩乃(食物栄養学科3年) 18分16秒31 || シーズンベスト
- 岩本真歩 || 自己ベスト 10分36秒64 || シーズンベスト
- ▽5000m 進藤秋穂 18分14秒37
- 奥澤虹雨 17分45秒03 || 自己ベスト
- 木村心咲 17分58秒03 || 自己ベスト

◆第10回京都陸協記録会 2022年12月4日

- ▽5000m 小谷彩乃(食物栄養学科3年) 18分16秒31 || シーズンベスト
- 岩本真歩 || 自己ベスト 10分36秒64 || シーズンベスト
- ▽3000m 岩本真歩 10分36秒64 || シーズンベスト
- 進藤秋穂 18分14秒37
- 奥澤虹雨 17分45秒03 || 自己ベスト
- 木村心咲 17分58秒03 || 自己ベスト

◆第9回京都陸協記録会 2022年11月23日

- ▽3000m 岩本真歩 10分59秒92 || シーズンベスト
- 奥澤虹雨 10分21秒13 || 自己ベスト
- 進藤秋穂 10分24秒56 || 自己ベスト
- 木村心咲 10分57秒45